

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	1/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

1. 開会【企画財政次長による開会】

定刻になりましたので、ただいまより平成23年度からの次期総合計画に関わります地域別懇談会を開催させていただきます。座間市において現在、第三次総合計画の計画期間内であり第三次の総合計画につきましては平成3年に策定されまして、平成22年度をもちまして期間が終了と、こういう状況でございます。従いまして、平成23年度からの次期総合計画について皆様方からご意見頂戴し、いわゆる今後の座間市のあるべき姿というものにつきまして忌憚ないご意見をいただきたいとこのように思います。また本日はあわせまして次期総合計画に密接に関連します都市マスタープランというものがございます。これについてもご意見等をいただきたいと考えております。意見交換の後、座間市長より総括的なまとめをさせていただきたいと思っております。また、本日いただきましたご意見につきましては、十分に精査・検討させていただき、計画に反映させ計画案がまとまり次第、第2回地域別懇談会を開催させていただく予定です。その中で具体的な内容につきましてご報告もうしあげ再度ご意見等をいただく予定です。よろしく願いいたします。それでは座間市長であります遠藤市長からご挨拶申し上げます。

2. あいさつ【市長によるあいさつ】

皆さんこんばんは。本当にこのお忙しい時間、夕食の時間帯にもかかわらず大勢の皆さんにご参加いただきましてまずもって深く御礼を申し上げたいと存じます。ただいま開会のご挨拶のなかでもご紹介ありましたが、わたしも座間市においては現在、第三次総合計画の計画期間内であるわけでございますが、平成23年の4月から次期の総合計画、これを策定したうえでその計画にしたがって今後市政について計画的な推進をしていく、こういう時期にきております。第三次の計画については、平成の3年にスタートして前期10年・後期10年全体で20年の計画となっておったわけですが、今回の時期総合計画につきましては計画期間をむこう10年と期間を区切って計画策定させていただきたいと存じております。それは、私が申すまでもなく本当に変化の激しい時代になっておる、そうした世相になっておるわけでございます。とりわけ私ども日本では少子高齢化社会、この高齢化の進行も急ピッチで進んでおるわけでございます。この人口減少については、人的要因を除き歴史上かつて経験したことのない事態、そうした課題を国全体で抱えていくなかで、私ども基礎自治体、市町村、市民生活に密着した立場でどのような施策をとっていくべきなのか、また安心安全そして末永くここで本当に暮らしてよかったと思えるまちにするために何が必要なのかということについて、どんどんこれはやはり考えをめぐらせてこの計画を策定していかなければならない、このように思うわけでございます。今後の社会情勢について正直予測が出来る人はいないというふうに思います。現在取り組んでいる私ども座間市の第三次総合計画、これについては平成3年からということで歩んでおるわけでございますけれども、平成3年という頃をぜひ皆さんにも思い出していただきたいと思うわけでございますけれども、ちょうどバブル経済が終焉を迎えて、坂道をごろっと下り始めた頃だったというふうに私は記憶しております。それから以後失われた10年と言われた日本経済のバブルの低迷期、これが私ども座間市にとっては第三次総合計画の前期計

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	2/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

画にあたる期間であったわけでございますし、その後の2001年から以降これが後期計画の該当期間であったわけでございます。日本経済がちょうどその谷間に向かうそうした時期にその前のバブルのそれこそピークからちょうど盛りの頃にあまれた計画が第三次総合計画、それに従って私ども座間市の都市基盤整備というのが特に前半の10年間で進められ、この間のやはり経済危機こうしたものを踏まえた中で、後半の10年間というのがその前半期に進めさせていただいたハードウェアの整備、都市基盤整備の部分でできた市債、これを丹念に償還をしながら市民の生活を守る、こうしたこれまでの取り組みであったのではないかとというふうに私自身は次期総合計画の策定にあたって総括をさせていただいております。その20年前に誰が今日のこの事態を想像したでしょうか。また、前期が終了し後期の10年間を考えると、こうした状態になることを誰が想像したでしょうか。この間にそれこそ携帯電話の普及があり、私ども子供の頃、まさかこんな時代がくるとは思ってもいなかったような状況になり、エネルギー危機というものが目前に迫る中、温暖化とういものがあり、どうも電気自動車というものも今後10年のスパンで考えますとおそらく10年後には相当普及しているんじゃないかといったような社会、そしてシステムの変化があらうかと思えます。こうした状況というものをやはりしっかり踏まえながら、今回の次期総合計画については、それらに対して柔軟に対応出来るようにということで、計画全体を5年間で見直しをし、事業計画については2年にいっぺん見直しをしていく、その時代にきちんとマッチしたかたちでこれを考えていく。見直しをするということを私は盛り込ませていただいております。ましてこの厳しい経済情勢、地方公共団体の財政状況というものもご存知のとおり本当に厳しい状況になっております。その厳しい財政の中で必要なものについて有効に活用して、本当に市民のためになるような行政のあり方、そのためにはやはり市民皆さんのお声、そして何が必要なかということについての率直なお考えというものを、やはり常に耳をすませて、傾けて伺いしていかなければいけない、このように思うわけでございます。これまでこの計画についての策定取り組みの中で、先月からでございますけれども、まず各種団体別の懇談会という、地域で活動されております団体の代表者様と分野別に3日間行なわせていただきました。そしてまちづくりフォーラムということで先般サニープレイス座間の多目的室にて、やはり同じような意見集約の場をもたせていただいたわけでございますけれども、色んな角度から色んなお立場から示唆に富んだご意見を沢山頂戴しております。まずは私ども行政の立場で考えておるんでございますけれども、実際にその行政のサービスを受けられている皆さんにとって、そしてこれから座間を共に作っていただくという皆さんにとって今後こうあるべきだということについて、率直な意見をまず伺っておきたい。そのために今回市内6地区に分けて懇談会を開催させていただき、色々な多様なご意見また地域ごとに違ったお考えもあるかと思えます。そうしたものを集約をさせていただいて、それをまた咀嚼をさせていただき、計画の中にテーマの中に盛り込んでいく。さらにそれをまたご提示してご意見を伺っていく、こうしたプロセスを重ねていく中で、計画を形成していきたいというふうに思っておるわけでございます。そうしたことから今日これからまず私どものほうで今取り組んでいることについての概要の説明をさせていただき、その後はどうか皆さんのほうから忌憚のないご意見をここで出していただい、それを受け止めさせていただ

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	3/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

く、それを今後に向けての取り組みの私どもの糧にさせていただき、そうした場に今日はさせていただきたいというふうに思うわけでございます。これから先やはり、地域の中で希薄化したといわれるコミュニティこれについてもやはりきちんと見直しをしながら、ともに手を携えて助け合いながら、そして信頼しあいながら生きていくそしてこのまちに住み続けていく、こうしたやはり基本的な原点にかえった取り組みというのがまさしく必要になろうかと思えます。そうしてはじめて今回の総合計画策定についての取り組みというの、まさに市民協働という言葉、私は難しい言葉あまり使いたくないんですけども、やはりともに考えともに歩んでいただくということのひとつとしてぜひ受け止めていただき、今日のこの会合お願いしたいと思います。時間の関係もでございますのであまり長いこともいけないと思いますので、このあたりで失礼いたしますけれどもどうか忌憚のないご意見よろしくお願いいたしたいと思えます。

3. 趣旨説明

(1) 趣旨説明及び総合計画位置づけ等説明

総合計画の位置づけ、第三次次総合計画と（仮称）第四次総合計画との違いなど、政策課長が説明。

ありがとうございました。それではさっそくですけれども次の議題のほうに入ってまいりたいと思えます。まずこれから皆さんのほうに今回の総合計画の関係につきまして、趣旨説明をまずご理解をしていただいて、その後忌憚のないご意見をいただきたいということで私共事務局のほうから趣旨説明につきましてご説明申し上げたいと思えますのでしばらく拝聴いただきたいと思えます。よろしくお願ひします。

政策課長の山本と申します。よろしくお願ひします。本日も忙しい中お越しいたきましてあらためてお礼申し上げます。私のほうから趣旨説明それから今までの取り組み経緯についてご説明させていただきますが、それに先立ちまして資料の確認をさせていただきますと思えます。まず総合計画の策定の趣旨と枠組みという資料でございます。それから画面を印刷したものの、「都市マスタープラン」とはという1枚の資料、それからニュースレター1号から2号3号と、全部で3部でございます。過不足ございませんでしょうか。なければ趣旨説明を始めさせていただきますと思えます。総合計画でございますが、地方自治法という法律で策定することが義務付けられているところでございます。本市では昭和47年に座間市総合計画を策定しており、2番目の総合計画としまして55年から平成2年までの間、座間市新総合計画を作成しております、そして今現在計画期間中でありまして第三次総合計画を平成3年に定めまして、22年までの計画となっております。その第三次総合計画も残すところあと1年半というなかで新しい総合計画を策定していくということでございます。新しい総合計画策定にあたりましては市民の皆様方からご意見等を十分にお伺いしたなかでそれらを計画に反映することで総合計画が市民の皆さんと共有する目的として定め、1人でも多くの市民の方々がこの座間に住んでよかつたと思えるような計画にしたいという考えであります。今までの取り組みについて簡単にご説明させていただきますと思えます。本年3月には小学生児童を対象に私の座間というテー

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	4/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

マで絵画コンクールを実施させていただきました。500を超える応募がありましてそれぞれふるさと座間を想う気持ちに溢れる作品ばかりでございました。また同月には次期総合計画をどのような方針のもとに作成するのかを明らかにする策定方針を策定させていただきました。4月18日には次期総合計画策定のキックオフとして、まちづくりシンポジウムを開催させていただきました。125名の市民の皆さんの参加をいただいております。それから8月20日には座間こども議会を開催させていただきました。座間の未来に向けたまちづくりについて子どもの視点から提言や質問をいただきまして、児童生徒が今後の目標として座間こども議会宣言というものを採択し、発表を行いました。また8月から9月につきましては皆様のお手元にも届いているかと思ひます、葉書のようなかたちで、あなたが思い描く12年後の座間というようなテーマで皆様から一言メッセージを募集いたしております。現在のところおよそ2000件のご意見等をいただいている状況でございます。そして9月の28、29、30日の間、各種団体懇談会を開催させていただきました。健康福祉、生活環境、産業労働、それから教育文化というような分野別に、開催させていただいております。それから10月4日には、まちづくりフォーラムをサニープレイスの方で開催させていただいております。これにつきましては、65名の市民の方に、ご参加いただきました。それから本日も含めまして14日から22日までの間、6箇所の会場に分けて地域別懇談会を開催させていただいております。これにつきましては、冒頭お話ありましたように、第1回目として開催させていただくもので、2回目としましては、来年、案がまとまったような段階で、また皆様方からご意見等を頂きたい、そのように考えております。また、10月30日から11月12日にかけては市民まちづくり討議会というものを開催予定でございます。これはなかなかご発言機会がない方や市政に関わりがない方々の意見をいただきたいということでございまして、2000人の方に無作為でご案内をさしあげて、参加いただける方にご意見を頂戴しようとする新しい試みでございます。市民の方々に関係することについては以上でございますが、いずれも市のホームページ等で詳細を掲載しておりますのでご覧になっていただければと思います。また本日お配りした次期総合計画のニュースレターにつきましても、これもホームページ等でご紹介さしあげております。また自治会からも回覧をさせていただいておりますのでご覧になっていらっしゃる方もいらっしゃるかと思います。今後も広報座間やニュースレターなどで総合計画策定にあたっての進捗についてその都度お知らせしていきたいと思ひますのでよろしくお願いいたします。それでは本日配布さしあげました資料についてのご説明に移らせていただきたいと思ひます。まず1ページ目の策定の趣旨でございます。これにつきましては、総合計画の定義と経済環境など市を取り巻く環境の変化などに対応する計画をしなければならない、それには何が重要かというようなことを記載しています。平成4年にはバブル経済の終焉を迎えた、その後10年については失われた10年と言われているということでございます。平成12年には地方分権一括法というようなことで分権の礎となる法律が制定されております。それから平成17年には日本の総人口の減少が、少子高齢化社会の到来、三位一体の改革による財政の硬直化、これは直接座間市には関係ございませんが平成の大合併ということで平成11年3月現在では3232自治体が、来年3月には1753自治体になろうかというような変化がございます。資料には記載してございませんがその他にも

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	5/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

平成12年には介護保険法、平成20年には後期高齢者医療制度が導入されました。本市の特徴・特別なものとして平成7年には自動車関係企業の閉鎖：生産レーンの閉鎖というような大きな出来事がありました。そう状況にも適確に対応した即応性の高い計画を策定しなければならないということを記載しております。次に計画構成期間でございますけれども、このような策定趣旨を踏まえて、次期総合計画の計画構成期間などを記載してございます。現在の第三次総合計画は20年間でしたが、次期計画ではこれを10年間とする、これは先ほどの時代の変化を踏まえるための変更でございます。また現在の第三次総合計画では基本構想と基本計画、実施計画という三層の計画でございました。次期総合計画ではわかりやすくするために基本構想と実施計画という2層にいたします。なお、実施計画は4年間で2年ごとに見直していくというような考えでおります。また新しい取り組みとして、より具体的に重点的に取り組む計画としまして戦略プロジェクトを策定し、より目的や成果を明確にして検証できるような戦略プロジェクトを導入しようと考えております。次に2ページでございますが、座間市の人口、現在までの推移を示してございますが、市内人口につきましては、平成47年までの推計人口を記載してございます。現在微増を続けている状況でございますけれどもまもなくそれも終焉し、人口が減少していきたくらうと世帯数については横ばいですが、年齢別の将来推移でございますが、座間市において平成18年には老年人口と年少人口の逆転現象が起っております。高齢化率が人口の21%を超えると超高齢化社会と言われております、座間は25年にはその超高齢化社会に入っていく、そういう推計をさせていただいております。こう見ますと高齢化が進んでいくということは明白であろうかと思いますが、ここでちょっと座間市の特色といたしましてお話させていただくと国勢調査ベースで、783都市中、生産年齢人口というのが、27番目ということで全国でみれば多い状態にあります。老年人口についても下から数えて45番目、若い都市という特性をもっているということになります。3ページ目の土地利用につきましては、地域の17.58㎢のうち市街化区域が71.3%を占め、県央地域では大和市に次いで2番目に市街化区域率が高い。そして住宅・商業・業務用用地が増加しており、工業・農業用地が減少しているとそういった現況を記載してございます。次の4ページから5ページにつきましては、分野別の特性と課題を記載してございます。①としまして健康・福祉分野、②としまして市民参画・コミュニティ、③としまして教育・生涯学習・スポーツ、④としまして都市基盤整備、⑤としまして環境・廃棄物、⑥としまして産業、⑦としまして行政経営、以上の分野の特性と課題を記載してございます。内容につきましては記載の通りですので省略させていただきます。次の6ページ目でございますが、ここでは社会潮流を記載してございます。これにつきましては人口減少社会、高齢化社会の進展、地方分権から地域主権社会へ、ソーシャルマネジメントの時代へ、低炭素社会の具体化、情報化の進展、社会と経済・雇用構造の変化、グローバル化とフラット化の進展、安心・安全の確保、教育環境の変化と教育改革、そのような社会潮流をまとめてございます。最後に7ページでございますけれども、実効性のある計画に向けてとして3段目に記載してございますけれども、市民の皆様が共通して目指すことが出来る将来都市像や市民生活像を明らかにし、市役所と市民との役割分担を明らかにする計画として策定すると記載してございます。最後にこのページ1枚でございますが、ここに示させていただいております

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	6/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

す。1 としまして、健康への取組み 安心 健やかなまち、2 番目としまして、自立 めくもり 支えあうまち、3 番目としまして、共に考え 共に歩む 安心のまち、4 番目としまして、豊かな心 明日への希望 育みあうまち、5 番目としまして、安全 憩い 快適なまち、6 番目としまして、おいしい水 安全な水 衛生的なまち、7 番目としまして、環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまち、8 番目としまして、未来志向 的確な判断 確かな希望をいただける経営、9 番目としまして、市民基点 柔軟な発想と行動 信頼される市役所というものを将来都市像の案として掲げさせていただいております。今後この将来都市像を市民との皆様のご意見等を伺いながらまとめ、さらにこの将来都市像を実現するための市民生活像はどうあるべきでどのように実現していくかということを含め、今後明らかにしていきたいと考えております。以上で私の説明を終わりにしたいと思います。

(2) 都市計画マスタープラン趣旨説明

都市計画マスタープランの位置づけ、改定の目的など、パワーポイントにより都市計画課長が説明。

つきまして総合計画と非常に密接に関係してございます都市計画マスタープランの関係につきまして都市計画課長のほうからご説明さしあげます。

はじめまして都市計画課長の森田です。どうぞよろしくお願いいたします。本日はご多忙のところご出席いただきましてあらためてお礼申し上げます。それでは私のほうから都市マスタープランについて趣旨説明をさせていただきます。それでは私のほうから法律的な位置づけも含めこちらのお手元に配布させていただきました都市マスタープランとは、という資料に基づきましてご説明させていただきたいと思っております。それでは 1 点目の都市マスタープランとは、からご説明させていただきたいと思っております。各市町村が作成します都市マスタープランは市町村の都市計画に関する基本的な方針として都市計画法第 18 条の 2 に定められている法的な計画になっています。都市計画の内容としましてはここに書いてありますとおり、土地利用の規制誘導、道路や公園等の整備、自然環境の保全などまちづくりをするうえでの基本的な計画となります。計画の策定にあたりましては総合計画と則することが定められており、また市民等の意見を反映させることも併せて求められております。座間市都市マスタープランを概念図で示しますとこのような図となります。国・県の計画、市の計画これらを受けて座間市都市マスタープランを作成します。これに伴いまして都市計画の分野別計画、具体的な都市計画としての決定事項が都市マスタープランによって定められます。次に 2 点目としまして座間市都市マスタープラン改定の目的としましては、現在マスタープランは、平成 13 年に策定させていただきました約 8 年が経過しております。この間都市計画法の改正や景観法の制定、総合計画の説明のなかでも触れられておりました少子高齢化の進展や経済情勢、激変する社会潮流等このような背景を踏まえ現計画を検証し、検証した上で時代に即した計画とするための改定となります。なお、計画の策定に当たりましては、関連計画との整合に充分配慮して行っております。

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	7/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

3点目の次期計画の計画期間ですが目標年次としましては、総合計画と同じ平成32年度を予定しております。4点目の座間市都市マスタープランの構成としましては市内全域を対象とした全体構想と市民に身近な地域を対象とした地域別構想、及びこれらを実現するための、実現化方策を定めさせていただきたいと思っております。全体構想としましては将来目標、都市像の設定をさせていただき都市づくりの方針を定めさせていただきます。地域別構想としましてはおのおの地域の都市づくりの方針を定めさせていただきたいと思っております。これらの構想を踏まえまして実現化方策として都市マスタープランを推進するための方策を定めさせていただきます。なお、都市マスタープランは総合計画と密接に関係しておりますので次期総合計画と連携をとりながら進めさせていただきたいと思っております。以上が都市マスタープラン改定の趣旨説明となりますが、いずれにしましても各種団体との懇談会や今後予定されております各種市民参加の過程で幅広い市民の皆様からのご意見等をお聞かせいただき、都市マスタープランへ反映させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願ひしたいと思っております。以上で私の説明は終わります。ありがとうございました。

4. 意見交換

【市役所】

それでは意見交換に入りたいと思っております。意見交換につきましては、限られた時間がございますので、懇談会を効率よく円滑に進めるために、今回は総合計画の経験とノウハウを持ちますパシフィックコンサルタンツに進行をお願いしておりますので、ご了承願ひたいとうふうに思っております。それではよろしくお願ひいたします。

【コンサルタント】

こんばんは。ただ今ご紹介あずかりました、パシフィックコンサルタンツの齋藤と申します。よろしくお願ひいたします。座って進めさせていただきます。今のご紹介いただきましたように、今日は多くの皆さんが参加されておりますので、皆さんに出来るだけ多くのご意見をいただくということ、皆さんと市の皆さんが上手く、円滑にコミュニケーションが出来るように、この限られた時間でありましても、司会進行の役を務めさせていただきたいと思っております。ですので、我々がコンサルタントは皆さんのお話を聞いて勝手に計画を作ってまとめていくと、そういうような役割ではございませんのでその点ご理解いただきたいと思います。それでは今総合計画につきましての概要と申しますか、今の現状ですね。あと都市マスタープラン、これから作っていくという趣旨説明をいただいたわけなんですけど、本日の目的は大きく新しいまち、市民の生活像や都市計画を考えていく上で、普段皆さんが思われている問題や課題、もしくは将来こうあったらいいなという点を率直に忌憚無くご意見をいただくという会議でございます。時間も限られておりますので、多分皆さん数多くご意見をお持ちだと思います。ですので数多くお持ちの方も最初1つ2つ絞ってご発言いただきまして、その後一通り皆さんご発言いただきましたら再度お手を挙げていただいて発言いただくと、そのようなかたちでより多くの方に

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	8/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

皆さんの多くのご意見をいただきたいと思っております。そういうことでよろしくお願ひいたします。それと議事録をとる関係もございまして、マイクのほう使ってお話をいただきたいと思ひます。その点も合わせてよろしくお願ひいたします。それではせつかくのお時間ですので、この総合計画、都市計画マスタープランをはじめ、皆さんの日頃の課題や問題意識など含めてご意見をいただきたいと思ひますけれども、どなたか最初に口火を切っていただける方、はいそれでは前の方よろしくお願ひいたします。

【参加者】

広野台の〇〇と申します。この計画の根幹は座間市の人口がこれから減っていく、こういう見通しなのですが、これの根拠は何かということですね1つは。ということは私は県の広報を見ております。県の広報を見ておりますと、神奈川県は年間5、6万人人口が増えていって行くわけです。今までずっと。にもかかわらず座間市の人口が減る、こういう見通しがまずどこからきたのか、それを教えていただきたいのが1つ。それからまとめます。次は都市基盤整備というところまず第一に考えられるのは、道路計画ですね。基幹です都市としての基幹ですね道路計画、これをどう考えているのか。子ども議会が開かれておりますが、東原のほうの子どもさんからは道路を広くしてほしい、こういう意見が出ております。私も同感です。一歩うちに入ると火災のときに消防車が入れない道路があると。そういう状況だということ。それからセットバックした建物あるにもかかわらずなぜそこが拡張されないのか。道路拡張を見越してセットバックして建物が建てさせられるにもかかわらずそのまま拡張されていない、それはなぜなのかということ。これから座間市の交通体系をどう考えているのかということ。それから座間市には観光としてはひまわりと大凧ということを言いましたが、なんの対策もないです。ひまわりなんかやるならもっと土地の広いところでやらないと駄目ですよ。大凧祭り、2日間か3日間。この間市役所で色々ありまして、前市長が座間市の観光についてのPRか何かを色々やっておられました。観光の目玉を作る予定があるのかと、座間市には。あるニュースで読んだんですが、かみが沢公園に彼岸花を植えたこと、大変結構なことだと思います。それから、ある市会議員から温泉を掘って、温泉街をつくらうじゃないかと、これも結構です。私はそう思っております。次に圏央道が今造りつつあります。海老名市には2つインターチェンジが出来る、座間に関するインターチェンジ1つもなし。相模原に2箇所あります。なぜそういうことになったのかということ。それから最後が

【コンサルタント】

もし複数あるようでしたらまた後ほど、よろしいですか。また後ほどまたお願ひいたします。今人口の話、人口の推計の根拠でありましたり、考え方の根拠ですね、でありましたり、道路計画をどう考えているのか、交通体系もどう考えているのかと、あとセットバックしているんだけどそこが道路が出来ていないとか、もし具体的な地名とか場所のイメージがありましたら。

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	9/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

【参加者】

相模原です。相武台です。相武台の布団屋さんとかまでは拡張始まっています。そこから先です。

【コンサルタント】

わかりました。あと観光の話がありまして、今やってることに対して厳しいお話ございましたが、その他色々温泉を掘ったらどうだろうかと、そんなご意見もありましたけども、そうですね、後ほど答えていただくとしまして、もう少し皆さんのご意見をいただいたほうが時間の使い方としてもいいと思いますので、今のお話後ほどお答えいただくということで、続きまして他の方ご意見いただけますでしょうか。それではいちばん窓側時計の前の方ですね。後ろから3列目でしょうか、お願いいたします。

【参加者】

まずこの市民との懇談会を作っていたいただいた市長にお礼を申し上げたいと思います。1つに絞りきれなかったので2つちょっと述べさせていただきたいことが。1つは病院の問題、2つ目は雇用の問題で、病院の問題についてはこれはむしろ逆に市長と当局への問いかけになります。どうするつもりなんだということで、ひばりが丘、立野台から病院が消えて、開業医がどんどん廃業しております。これは将来それこそ長期間の新しい問題ですので、これはどう考えて、最終的にはどこへどうするつもりでいるのかということ、また何かアイデアがあったり、また何かこんなことがあれば市民のほうからも聞いておるんで、そういうふう思うし、本当に聞きたいと思います。これはある意味では都市レベルではなく市的なレベルの問題だと思います。2番目なんです雇用の問題、これは提案です。福祉支援課のほうで就職を指導支援する方が嘱託で1人いらっしゃいますが、これをもっと導入し、もっと枠を広げて一般の方でも就職相談なんか出来たらどうだろうかなと考えております。また、専門の相談窓口を作って、専属職員なんか作れないだろうかと思っています。最後なんです、今文化センター等の端末がハローワークへのホームページにアクセスして、仕事の検索が出来るんですが、その端末の頻度や、また3台、図書館も含めてそんなにないんで、このコミュニティーセンターにも端末をいれて活用したらどうだろうかとこの提案で説明させていただきます。ありがとうございました。

【コンサルタント】

ありがとうございます。病院の問題ですね、撤退している病院の問題をどう考えるのかと、あと雇用の問題として相談枠をもう少し広げられないかという話と、コミュニティーセンターに端末を置いてはどうかというお話だったかと思います。これは具体的に答えられる部分と、今後の方向性としてお答え出来る部分、双方あると思いますので現状のお話も含めて、後ほどまたお話させていただきたいと思います。今のような話に補足でもいいですし、先程そこの方お手を挙げてましたね、続けてどうぞ。後ろの方お願いいたします。

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	10/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

【参加者】

こんばんは。先程の方と同じように、このような機会を設けていただきましたことを感謝申し上げます。意見交換を効率的にやるんでということで、今の三次計画がどんな流れになっていて達成見込みはどうかと。マスタープランはどんなマスタープランでそれを達成どうなのかというのが少しご説明いただければ、こういうこともあると話せるのでまずそれを伺いたい。それから新市長が就任して1年になるのですが、座間市の課題整理をどのように受け止めていらっしゃるか。既にその意見言うまでもなくですねその課題があるなら我々市民も安心してと言いましょか、というふうに思いますので。それで伺いたいなど。その後私なりに整理をしていますので、また3、4点整理した中身を、伺いたいと思っておりますが、よろしくお願ひします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。そうですね、市長さんからお話は最後にお話しただけだと思いますので、それを聞いてからというよりは、もし後ほどまたご発言いただいとゆうようなかたちで進めていきたいと思ひますがよろしいでしょうか。

【参加者】

もしそうであれば、私なりに1点。市長の考えなり、今計画に入っているだろうと期待しておりますが、そうすると前にも伺ったんですが、座間市の課題問題というのは、1つは米軍問題ですね、今まで米軍問題で国からのお金をいただくずに、というのは市民にとって大変苦痛と言うか、問題でもあるかと、反対されてる方もいらっしゃるかと思ひますけど。あれは動かないものとしてやっぱり米軍と融合しながら、していくと、中身を見ますと大変大きなグラウンドもございまして、チャペルもありますし、その辺を市民が共通に使えるようなこと等をですね、ゴルフ場もありますし、優先的に米軍というのはわかりますけれども、市民も活用出来るような道筋を立てて欲しいです。関連して健康問題、市民の健康安全というのは行政としては大優先かと思ひますが、そのことには先程最初の方もおっしゃいましたけど、道路ですね、パトカーも救急、消防車が、安全で通れない。それで市民の健康安全が保てるのかというのが座間市の最大の課題ではないかと思ひます。座間市は分断されてるのは2つあります。やはり申し上げたんですが、米軍のキャンプと、それから小田急がですね、小田急の踏み切りなしで渡れるようなところが少なくとも座間市で3、4箇所いるだろうと。いっぺんに出来ないとしても、それが無いと先程の緊急の際の対応が、この間もチンチンチンチンというところでサイレン鳴り出したら、電車が来るととまってしまつてですね、サイレン鳴らしてるときをみると、こんな状況があちこちではですね、市民が安全に本当に暮らせるのだろうか。これがいちばんの問題ではないかと私は感じております。それと良いか悪いか別にして、自民党から政権が交代といひますか、かわつたために、そのための変化があり得るだろうと、言ひますのは、地方分権の問題ですね。地方分権が行われたときに座間市はどういう対応が、準備が出来ているのか

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	11/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

と。これはまず大変な問題だろうと、市長が次の選挙までどう変化があるかは別にしまして。具体的に言えば、建築主事がない、座間市には、自分のエリアの開発なり地域なりに対する建物が出来ないじゃないかと、それだと県に委託してます、というのは、それはそれで経費の問題実力の問題などあるでしょうが。少なくとも受付係じゃなくてですね、自分たちが自分たちのまちをつくるんだという意義から言えば、建築主事は自分の配下、要は市長の配下のもとになって、自ら建築ができる、あるいは市民からの提案に対してアクションが出来る、とれるようなかたちが必要ではないかとそういうふうには私は整理しております。細かな問題は色々ありますが、今日実は市役所に行ったんですけども、行政改革といいましょうか、職員が認識を新たにしてほしいなど。といいますのは、自分たちのまちは自分が勤めている市役所の市長以下がいかにか毎日考えていいまちにするかという認識が本当にあるんだろうかなという疑問を感じたからです。それは小田急に、この沢山出てる中で、私あるコンサルタントに報告させたんですが、相模原市、海老名、座間市、厚木の中で、急行が停まる駅をもたないのは座間市だけだと。資産価値もない事業価値もないというのが、ある事業をするにあたって大変ハンディなんです。私はその意識が市のどこに行ってもみられない、担当課長、担当部長さん今日来ているかも知りませんが、おれがやってあげるんだと、市の活性化と勧誘のためにという意識が非常に、持ってても忙しいから出来ないのかもしれませんが、自分の仕事は違うんだということではあってはならないんですが、それと例えばかにかが沢の整備もですね、長くなるって司会が言っているんですけども、ぜひ自分の仕事、要は桜を切る前に公園の状態にあわせたし植物を、自分が公園の職員であれば、もっとも金がかかって、もっともきれいになってというのはなんだってという勉強が、市民の職員それぞれが前と同じ、毎日同じものを植えている。日なたのところは草ボーボーで、例えばそういうような点が本当に、そうじゃないかということ特産品のPRもね、そういう意味では市役所の職員の方々は市の代表として仕事を考えてほしいなという意味で申し上げました。以上でございます。

【コンサルタント】

ありがとうございます。すみません途中で区切ってしましまして。また後ほど時間ありましたらお願いいたします。それではその他の方、それではこちらのほうからですね、真ん中の方ですね。すみません複数ある方は1つ2つにまとめていただいて、後ほどご意見をいただくようにしたいと思います。

【参加者】

先程ご説明ありました、マスタープランの中の、4の座間市都市マスタープランの構成の中で、1、2、3についてちょっと具体的に説明した、それだけですが、その後にもまた質問したいと思っております。よろしくお願いします。

【コンサルタント】

すみません、今のお話は1、2、3、4について、どういった、

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	12/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

【参加者】

そのナンバー4の。座間市マスタープランの方向性、これの1、2、3と3項目のってますよね。これに対してちょっと具体的に説明をお願いできるとありがたいなど。

【コンサルタント】

先程のご質問あった、現状の全体、今の都市計画マスタープランで定められている全体構想とか、今の都市計画マスタープランで定められている地域別構想を聞きたいということでしょうか。それとも、そもそも位置づけとか、

【参加者】

それはこれから先の考え方でしょ、皆さん。だから、これから先に対して4の1、2、3に対して、この地域を全部うたってますよね、地域に対する色んな方が、あるいは2の項目に市民に身近な地域でおこったとか、地域をうたっていますよね。だからこれに対してもうちょっと具体的に私は自治会長やってる関係でもう少し具体的に説明していただくとありがたいなど。

【コンサルタント】

わかりました。それでは先程ご質問ありました件と重ねますけど、今の都市計画マスタープランの話と、あとこの中で地域の区分とかそういうものは今後の話としてある程度固まっているのかどうか、現状の検討途中の話も含めてそういうお話だと思います。それでどうしましょう、今ここでやりとりしてしまいますと、多分皆さんのご発言時間がなくなってしまうので、後ほど今のお話を必ずお答えいただくとしまして、ご質問なりご意見を続けさせていただいてよろしいでしょうか。それではすみません、それでは今お手が早くて一番後ろの方ですね。

【参加者】

緑ヶ丘で35年ぐらい住んでおります。資料のほうの2ページ3ページぐらいを見ていただければ、座間市の環境というのは住宅地がほとんどですよね、住宅の人の住む生活空間がほとんどの市だと思うんですけども、そんなところでベッドタウン化になってるんだろうと思いますけれども、そんな環境をきちっと守れるように人が住む空間を緑と水が大事だと思うんですけども、座間市は特に緑とか水というのは特徴がありますけれども、人の生活空間を大事にするまちづくりをお願いしたいなというふうに思っております。それで2つくらいお願いしたいことがあるんですけども、かみが沢公園は非常に駅から近くて市街地の中にある公園で非常に素晴らしい公園だと思うんですが、桜の木が何本かもう樹齢がきて若返りが必要なソメイヨシノになってると思うんですけども、その若返り方策。それから西側の斜面に樹木があるんですけども、それもずいぶん年齢が経って若返りをする必要があると思うんですがそのへんをお願いしたいなというふうに思います。それと成光学園の下のほうに斜面が続いて雑草地といますか、未利用の土地があるんですけども、それを公園の中に取り込んで市民が利

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	13/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

用できるような方向に特にお願いしたいと思うんですが、財務省が今売り出ししているんですけども、あの土地は公園の一部として利用させていただいて公園の真ん中に十何階もの大きいマンションが建ってますけれども、あんなことのないようにこの辺に住む人の利用価値を考えてお願いしたいというふうに思います。それから2番目なんですけれども、小田急相武台駅の南口なんですけれども、あそこにバスの発着広場を作っていただきたい。10年の間であれなんですけれどもつけて、踏切を渡らないでバスの発着出来るようにして、南側に行くバスそれから他のほうの駅との連絡のバスの運数を増やして南口の広場からバスが発着出来るような体制をしていただけるとすごくその沿線の開発が出来て住む環境も良くなるんじゃないかというふうに思いますので、そのへんもひとつお願いしたいなということで。それから2ページのところにあります10年で65歳以上の人口が3倍になってますよね。そのへんを考慮させていただいて、私がこれで5年ぐらい市民農園を借りて一生懸命汗を流しているというのは、やっぱり健康第一で過ごせるように、それからピンピンコロリじゃないですけども、医療費を使わないで過ごせるようにということで市民農園の方を少し活発に利用できるかたちで、そこで健康の維持をしたり、自分の作った野菜で食事をするとかそんなふうな思いを出来るようにして、最終的にはピンピンコロリという思いでやっておりますので、そのへんもご考慮お願いしたいなと、こういうふうに思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。かみが沢公園の件は多分後ほど整備計画のご予定などご説明いただければと思いますし、相武台のバスのような話は交通体系の話先程ご質問ありましたのでそれとも含めて現状での考え方、もしくはまだ先の話かもしれませんので今後どう考えるのかというあたりをご説明いただければと思います。あと市民農園の話もございました。それでは続きまして女性の方が先でしたね、お願いします。

【参加者】

広野台に住んでいます。私も先ほど病院の話が出ましたけれども、安心してお産が出来る病院、大変少なくなっているんですよ。他の市に行ったり本当お母さんたち大変な苦勞をして子どもを産むんですけど、座間の中で安心して子どもが産めるように産科のことも考えていただきたいなということと、計画の中の6ページの社会潮流というところの8番の安心安全の確保というところで書いてあるんですけど、本当にそうだなと思うんですね。それともう1つ安心安全というのを平和でなければ、安心安全も守れないという風に思うんです。座間市は平和都市宣言をしてますので、オバマさんが核兵器なくそうとかいうそういう動きがなってきて、世界もそういう流れだと私は感じてるんですけども、具体的にせっかく原水爆の協議会、ああいうのも座間が主導になってるんですけど具体的にもっと市民にアピールしながら平和を守っていくという立場が座間としてどうなのかなと、ちょっと伺いたいなと思うところです。今日友達と食事に行ったときに、迷彩服を着ているアメリカの、キャンプ座間の米兵さんたちが何人か玄関のところにいて、私の友達が私の腕を掴んでどうしてああいるのって、何で迷彩

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	14/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

服を着てまちを歩かなくちゃいけないのって言っていたんです。やっぱり市民としてはそういうことも、恐怖に感じる人もいっぱいいると思うのでそのへん座間市はどう考えていらっしゃるのかなと伺いたいです。あとサークルで色々使う施設をもっと増やしてほしいと思います。私もここでお世話になってるんですけども、本当にいっぱい今結構低年齢の方もサークル活動とかすごい活発になさってるし、子育て中のお母さんもこの施設に行くということで借りられないんですなかなか。いっぱい。このへんは東地区文化センターとか北地区文化センターというそういう施設もないし、だからお店の店舗・空き店舗とかそういうのも活用して何か考えていただきたいなというふうに私は思っています。あと公園のことなんですけれども、公園、かにかが沢があるんですけど、子どもたちが水遊びが出来るそういう公園がないんですね。相模原にはあるんです、噴水になって赤ちゃんとかよちよち歩きの子が遊べるようなそういう施設をぜひ座間でも作ってほしいということと、道路がでこぼこで若いお母さんたちバギーで押しても本当に歩きにくいし、どうして座間はこうなのという感じで、本当に障害者の方の車椅子なんかも通りにくいということで、やっぱり障害者の方たちが安心して生活できるまちは赤ちゃんからお年寄りまで安心のまちになるんじゃないかなと思うので、道路の整備なんかも至急にしていただきたいなというふうに思います。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。産科の話は先ほど病院の話のご意見もございましたので、そこに含めて今後の考え方ですね、すぐ何がどうだというわけにはいかないと思いますので考え方をお聞かせ願えればと思います。あと平和の話、キャンプの話が出ましてここは先ほどの活用するという話とは少し違う意見かと思いますが、双方そういう意見があるということで、難しい話でございますが、触れていただければと思います。あとサークル活動が出来る施設、水遊びの出来る公園であるとかそういうものについてどう考えるか、どういうふうにもし現状で認識があれば、教えてほしいということだと思います。ありがとうございます。それでは続きまして斜め前の真ん中の列の。お願いします。

【参加者】

ちょっとこれまでの方と内容が違うかもしれませんが、第4次の総合計画策定にあたりましてお願いでございますけれども、できるだけ具体的な目標を設定されたいかがかなと思っております。先ほどもちょっとお話出ましたけれども、これまでの計画がどういう成果があったのか、私も存じておりません。これからの計画につきまして、できるだけ目標が具体的にできればいいんじゃないかなというふうに思っております。何を具体的な目標にするかということ、ですが私自身は、座間の人口を増やしたらどうか、こういう感じにしています。最初の方のご質問にありましたように、人口が減ってるということについてのお話ありましたが、まさに人口取り合いだと思うんですね。座間市が要するによそのまちよりも魅力のあるまちになれば、それによって人口を増やす。ですから例えば10年後には今13万人を15万人にもってくのか20万人ぐらいか知りませんが、とにかくそういった具体的な目標をかぞえてそのため

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	15/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

に何やるかということをやっていたらありがたいな。例えばその中で人口を増やす方策としましてね。自然に待っていれば高齢化しますから、要するに若い人をいかにこの座間市に呼び寄せるか、そういったことを大きな目標に掲げてそこからそういう色んな政策をブレイクダウンしていったらどうだろうか、こんな感じにいたしております。せっかく大勢の方々が関わって、色んな計画を立てるわけでございますから、こんなことが出来るかわかりませんが、市長さんお変わりになりまして新しいわけでございますから、新しいことに具体的にとりくんでいただければ、座間も大変魅力のあるまちになるんじゃないかなというふうに思っておりますのでよろしくお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。できるだけ具体的な目標ということで、その前に三次の話もどうなっているのか、という話だったと思います。具体的な目標ということで、もし時間がありましたら、今回の計画の策定の趣旨みたいなものを再度ご説明いただければと思います。それと人口の話ございました。これは先ほどご質問ありました話とも関わるとは思いますが、今全国的な話も踏まえて県の話も踏まえてでしょうか、どう人口考えるのかというふうなあたりもご回答がいただければと思います。どうぞその他の方、そちらから次前の方をお願いします。

【参加者】

1 つはやっぱり道路問題、これが非常に座間市は一番弱いんじゃないかなというふうに思うわけです。特に高齢の方とか身障者の方とかあるいは車椅子、こういうなことを見たときに本当に今の座間は車社会じゃないかなと、住民の求めている道路政策が一番後ろ回しにされているんじゃないかなと。座間日産の側面の道路が10年近くかかってやっとここを通すような道路作り、一方座間の市役所は非常に立派にお金を投入して造られる。またここの市長さんのところには道路や文化会館というふうに言われておりますけども、実際には投資の仕方が箱型の投資に相当重視されたんじゃないかなというふうに思うわけです。実際今こうやって通ってきても実際に今車椅子が通れる道路ではない。柵があってもそこに車椅子が通っていけるかといったらば、全く車椅子が通れないという柵作りになっています。ひとつ栗原の小池のところは水が出るたびに道路が冠水するというふうなことは解消しましたけど、実際にはあそこを歩行者などが通るには非常時大変な道路であるということを見たときですね、とにかくその途中まで使う人はどこでも歩けるけど、その先がまるで狭くなっていると。そういうところに通れるような道がつくろうと思えば出来るんですね。そういうふうなことで、もっと本当に安心して歩けるという道路作りをやはりこの長期計画ならば、一番住みやすいまちということで見れば、重視してほしいなというふうに私は思います。それから大きく言いますと、道路問題でも私は広野台に住んでますけど、一応国とか県の方針に基づいた長期計画ということですから、私の住んでいるところの相武台団地入り口という信号があるんです。そこに以前立体交差作るということがありました。これは引き続き計画ですから残ってると思うんですね。しかし私の住んでいるところは袋小路になってしまうというふうなことがありまして、実際に

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	16/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

は頓挫したままになってます。引き続き頓挫したままでいてほしいなというふうに思っております。ですからぜひこういうような情報がありましたら、市としては現状のままでいいということでもってやっていただきたいなということをお願いします。よろしくお願いします。

【コンサルタント】

ありがとうございます。道路の話、市庁舎の話で道路問題がというお話がありました。これは最後市長さんからのお話の中で市政の課題認識の中で触れていただけのんじゃないかなと思います。それと道路の話は全体としての整備計画とかそういうものが今あればご紹介いただけるものがあれば先ほど来道路計画についてのご質問もございますので、していただきたいというふうに思います。時間も限られていますのでどうぞ、前の方ですね。

【参加者】

相武台に住んでおります。このまちづくりのテーマなんですけれども、今現在私も座間に住んでいながらまちのテーマというのはなんだろうか、どうなんでしょうね。特にこのテーマの中の7番、環境との調和暮らしの活力持続可能なまちって書いてありますね。その中身が2ページのところですか、7番のところ、環境との調和 暮らしの活力 地続可能なまち と書かれています。その中身をみてもこれは市民と事業者が云々ということで一般論は書かれているんですけど、これの具体的な計画をぜひやっていただきたい。楽しいきれいなまちという言葉で考えますと、皆さんが今14000ISOとられてますからぜひ環境側面を分析してみてください。市役所の中の環境側面じゃなくてまちのです。14000をおとりになっている中でぜひ比較、目的目標というものを設けられてるわけですね。この今都市計画のまちづくり、これをマスタープランも全て、私はISOの審査機関に所属してまして、審査委員でございます。品質と環境の審査資格を持っているんですが、各部事業所、座間の現場の事業所をみたわけじゃありません。市役所の時もみたことありません。私言いたいのは7番の 環境との調和 暮らしの活力 持続可能なまちづくり これをぜひやってもらいという意味で申し上げているわけなんですけど、そのためにせっかく出来た市長、今相武台のセンターでございます。先ほどもお話が出てきました機関であって、あそこの小池からずっと南林間まで続いていて、それから今度は相武台とそれから市役所につなげるとか、先ほど申し上げられた立体交差点がないようだとか、それは三次の計画の中に県から入れられた構想があるかと思うんですけど、そういう実行の中で何が課題としてあったかどうかという部分だと思うんです。14000をおとりになっているわけですから、市役所の中の14000じゃなくてぜひ座間市の14000という意味で環境側面をよく分析していただくことと、そういうものにあわせてこれから出てくるのは地震対策だと思うんですね。東海大地震とかが起こった場合に我々の住み良いまちづくりというかたちのうえでぜひやってもらいたいと思うんです。ですからそういう意味でセンターに座間市の輪、神奈川県へのそであります市、そこに米軍司令部もあるわけなんですけども、そういうところも反対じゃなくて協調しながら、あのゴルフ場の下に地下を作ってショッピングセンターを作るとか色々方法あると思うんです。上に建たせるんじゃないくて、土地が下にもあります。お金がかか

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	17/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

るでしょうけども、ぜひそういう環境にやさしいことと地震対策に耐えられるようなまちづくり、それによって危険なものがあつた場合そうすると先ほど出てきたような医療機関に対する問題もあるでしょうし、学校の問題もあるでしょうからぜひ今相武台の市役所の中にあるその周りの部分もそんなに栄えてこないというのは一体何なんでしょうかということです。あそこが一応座間市のセンターになっているわけですから、それを中心に考えられて、すぐやる課というそういう課を作っていたら何かあつたら、汚いまちづくりじゃなくてきれいなまちづくりで住み良い生活が出来るようなそういう構想をぜひやってもらいたい。私は7番の、環境と調和 暮らしの活力 持続可能なまち というこの言葉あまり好きじゃないんですが、きれいなまちづくりという言葉でぜひ環境と、地域における地方分権もまわってくるでしょうし、そういうお金に対してでも中央分権をいただいた場合にどういうまちづくりをやるか、合わせて座間市は座間市で生きていくのかそれとも合併していくのかということも、ぜひ考えていかなきゃいけないんじゃないかなという気がいたします。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございました。7番目の環境の側面につきまして力説をしていただきまして、地震対策の話もありましたし、すぐやる課のように能動的な市役所になってほしいというようなご意見とか、センターを中心としたまちをどう考えていくか、最後は合併の話もありましたが、広域的にどう考えるのかとそういう話もあつたと思います。これはこれから検討する内容でもあると思いますので、お答えできる範疇がございましたらお願いしたいと思います。どうでしょうか、若い方もいらっしゃるのどうぞ。

【参加者】

広野台に住んでおります。広野台に住んで14年になります。様々な意見が皆様から出されたので重複しないようにと思ひまして、教育と環境について、まず総計についてですが、お願いと全体的な話もあるんですが、まず総計にたいして全体的なお願いとしましては、施策の優先度はわかるように明確にしていきたい。基本的にこういうような懇談会の中で出た意見をできるだけ反映していただいて、その中でもやはり財政に限りもありますので有効な手段を選んでいただきたい、と、このように思っております。それで出来れば定量的な目標を設定していただいて、それに対して事業評価などをして情報公開をしていただきたい。それによってまた見直し等を図っていただければ幸いです。次に総計の具体的な項目の中の教育でのお願いがあります。まず私子どもが3人おりまして今、小中高と1人ずつおるんですが、この14年住んだなかで感じたのが、まず近隣市に比べて学習プログラム自体の充実がちょっと足りないんじゃないかと思ひます。助成が他の市町村に比べて足りないような気がします。あとこれは財政にからみますので、お願いになりますが、小学校中学校校舎が老朽化しておりまして、子どもが朝白い靴下を履いていくと帰り真っ黒になって帰ってくるんですね。最小限の補修でもいいのでよりよい教育環境を提供してあげてほしいと、本当に小中学校の公共教育についてはお願いしたい。あと交通確保でございますが、できるだけ座間に人を集める、子どもを

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	18/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

育てる余力のあるまちとするためにも個性のある学校を考えていただきたい。教育については以上です。環境ですがこれは全般の話ではないですが、このあいだ私が太陽光発電を家につけようと思ったときに、色々な補助メニューを見たなかで座間市だけがこの近隣市町村の中で、終わったのもあるんですが、補助ありませんでした。去年で終わったというふうにホームページに出てたんですが、そのへんの取り組みも非常に遅れているように感じます。太陽光に限らずどのような支援をして、座間市は環境対策に対してどのような目標を設定するのかといものについても、戦略的な数値目標を立てていただいてそれを達成していただく、当然住民に対してもある程度痛みを負う部分が多々あると思うんですが、そのへんの明確な施策をうちだしていただいて市民も交えてより良いまちづくりをしていただければと、ぜひお願いしております。あと最後に都市マスについてなんですが、2つあります。1つが土地利用計画の明確化ということで、最近結構乱開発といいますか虫食い状態の商業開発が多々見受けられるので、そのへん一貫性のある土地利用をなさっていただきたいということが1つあります。もう1つは都市施設ですね、座間市はなかなか都市施設が揃ってない。ごみ処分場についてもないという現状でございますが、ただ都市施設を作るとお金がかなりかかりますので、なんとか複合利用して、今あるストックを既存のストックを生かしながら、生活環境を少しでも改善していただければというふうに思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。施策の優先順位がわかるように財政の厳しい中メリハリをつけて定量的な目標を立てた計画をとというのが大きくございまして、学校教育の話、教育環境の充実、学習プログラムについてどうだろうかというようなご意見。都市マスにつきましては土地利用の現状の虫食いの話といたしますか、小規模開発の話ですね、それにもう少し厳密なものとはできないかというあたりと、都市施設の既存ストック利用について考えていくと。これもこれからの話が結構ありましたので、答えられる範囲内で後ほどお答えいただければと思います。お時間がせまっております、あと1、2名でお願いしたいと思いますが、どうぞ前の方お願いします。

【参加者】

私は明王に30年間住んでおります〇〇と申します。ちょっと場違いで日程が合いませんのでこちらの集会に参加させていただきました。私このあいだ議会だよりから6月の議会の議事録を見てみました。そうしましたらば、再編交付金について議員から質問がありまして、企画財政部長のミヤダイさんと読むんですか、ミヤシロさんと読むのか、その企画財政部長が議員の提案で市道30号線の道路の拡幅の工事、これについての見解を述べられておるんですが、この提案を容認するような趣旨に私にはとれておるんですけれども、この30号線は平成4年から6年、それから6年から12年かけて公害紛争が起きてるんです。そのことご存知でしょうか。企画財政部長さんご存知ですか。それで13年の、3年前に30号線の座間中の交差点から小田急の跨線橋までを消音舗装をしていただきました。しかしその消音舗装の結果が、座間市

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	19/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

は丁寧に消音舗装する前とした後と2回騒音の測定をされているんですけども、消音舗装終わった道の騒音の測定もやはり、昼間6デシベル、夜間4デシベル、これだけ調停で私どもに示された、市のほうにも示された、その調停事項よりオーバーしてる。したがって私が申し上げたいのは、まずこの拡幅工事、拡幅については沿線住民として強く反対する、はっきり申し上げたいと思います。それでその調停条項に反する騒音が出てるといことは、違法な状態がまだ30号線に定着しているということです。したがってもし拡幅工事が行われれば、これは当然に交通量が増えるんです。現在でも大型車がずいぶん通っておりますけれども、交通量が増え、そして騒音、振動、大気汚染、これら公害がさらに増える。それから交通の安全が妨げられる。さらに道路の破損もおびただしくなる。このような弊害がある。したがって、このような自明の理はよく座間市の担当の方たちはご存知だと思いますけれども、結局騒音のオーバーを現実の状態がオーバーの状態になっているということは、いわゆる法律上の義務違反をしてると思うんです。これをなんとか想定騒音基準まで引き下げてもらって、そして調停を完全に遵守するようなかたちにさせていただきたいと特に思います。したがって先ほども申し上げましたように、30号線というのは拡幅というのはこのような歴史的背景があるんです。単純に拡幅っていいにしても、この議員さんは思いつきというか、非常に我々にとってはありがた迷惑な質問しているわけなんですけれども、そのようなことはよくその、30号線なら30号線の歴史をよく見ていただいて、そしてご返答をさせていただきたいと思います。そして計画をさせていただきたいと思います。

【コンサルタント】

ありがとうございます。個別の具体的話になりますので、

【参加者】

そうじゃなくて、このような地域の道路の計画をする場合歴史的な意味、いわゆる過去未来と歴史的な関係をよく見て、そして策定をさせていただきたいと、そういう趣旨です。

【コンサルタント】

わかりましたありがとうございます。歴史的、先ほど環境側面という話もありましたが、色んな状況をちゃんと理解をして今回の計画を作ってほしいと。具体的な路線の具体的な話はここで言うよりまた後ほど個別にお話しをされたほうがいいのかと思います。色々皆さんからご質問がございますので、市の方に答えていただきますと、そろそろ答え始めないとなかなか時間がとれないと思いますので、どうでしょうもうひとかただけでも、すみませんがひとかた手短かにお願いいたします。その後市のほうからお答えお願いいたします。

【参加者】

広野台在住の〇〇と申します。私も高齢化になりつつある地域のものとしてちょっと申し上げておきたいかと思っています。私はこちらのほう広野台に住んでもう25年以上経ちます。

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	20/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

そのうち住民の人の家族構成がほとんど変わらないままっております。ということはもうこの地域では平均、私が住んでから20歳以上はプラスになっているということで。先日テレビで観ましたら、ケアセンターのテレビが出ておりました。要は与えるものばかり多かった、それを今度与えないようにする、例えばスロープなくして階段にするそして自分たちでその活動が出来るようにさせたところ、ものすごく意欲が出てきた。そしてその中でボランティアをやっている、ボランティアでそこで使える金券的なものを作ってやっていったところ、なお意欲が出てきた。非常にここがまた繁盛しはじめた、というのが出ておりました。といいますのは、何を言いたいかと申しますと、ボランティアが出来る、高齢化になった人がボランティアで積極的に参加出来るもの、シルバーセンターというものがあるかと思えます。そして若い方も同時に参加出来る、こういうふうな計画を希望する次第です。といいますのは私も新潟の片田舎から出てまいりました。いつまでたっても田舎というのは思い出します。ぜひともこの座間もそういうふうに思い出せる座間に計画をいただくと非常に助かります。以上です。

【コンサルタント】

ありがとうございます。高齢者の方の活躍の場、ボランティアの場そういうものもちゃんと考えてほしいと、そういうことでふるさと思い出せるようなまちをぜひとも作ってほしいということで、皆さんの意見まだまだ出ると思いますが時間も限られておりますので、一度ここでしめたいと思えます。それでは数多く道路の問題であったり、病院の話、環境の話、あと教育の話色んな分野で皆さんからご質問がございました。あと現在の計画はどうかとか、都市マスタープランはどういうものなのか、それぞれありましたので、すみません手短かにお願いしますが、答えられる範囲内のもの、そして今後の話は最後市長さんのほうにもまとめていただきたいと思えます。お願いします。

【市役所】

都市部長の和田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。ノートを見ながら説明させていただきたいと思えます。座って失礼いたします。まず道路の関係、道路の計画をどう考えているか、交通体系をどう考えているか、そういう大きなお話から現況の道路の脆弱さ、でこぼことか狭い、そういう話道路の関係沢山いただきました。まず交通体系でございますが、この総合計画の第四次の策定と都市マスタープランの改定に合わせるかたちで今座間市の総合交通計画というものを策定している最中でございます。その中で今の問題課題点、そして今後の道路交通需要予測そういうものをして、将来的にこうあるべきだとかたちを今作っている最中でございます。また圏央道、これは海老名にインターがあって座間にはないと、圏央道自体が座間のほうに走っておりません。相模川、西には厚木のほうに走っておりまして、座間側の分がないものですからインターも当然ないこととなります。また、マスタープランの状況とそれからこの4番のマスタープランの構成ということでもご質問いただきました。マスタープランの構成は、こう作りたいということでございましてまず1番として、座間市全域の将来像はこうあるべきだという、全体構想をまず作ったなかで市を地域別に分けて、今のプランです

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	21/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

と6地域でございます。そういうふうにより地域を個別に分けた中でそれぞれの地域の特徴を生かした中で、地域別構想はこうありたいというものをその次に作りまして、それを実現化するためにはどういうことをしなければいけないんだという3本立てでこれから作っていききたいということございまして、この中身につきましては今これから作っていく最中のお話になります。また、マスタープランの状況ということでございますが、今のマスタープラン平成13年3月に出来ておりまして、平成32年までの20年間の計画、そのうちのまだ半分も出来ておりません。8年が経過したところでございまして、出来ている部分、出来ていない部分、もちろん出来ていない部分が多いんですけども、そういうなかで都市マスタープランの上位計画である総合計画がここで新しく作られるということで、当然都市マスタープランの見直しをしなければいけない、そういうところでございまして、その中でも現在の、先ほど出ました圏央道や海老名にインターが出来る、その次には厚木のインターが出来る、そして東名高速が綾瀬に綾瀬インターが出来る、そしたら座間市はそれをどう使っていくのか、交通の幹線がだいぶ変わってきております。そういうものをしっかり考えたなかで、改定をしていくというお話になるかと思っております。また、踏み切りのお話も出ましたが、これもまず道路の上げ下げというのは、構造上の問題が座間市にはございます。小田急線と道路の幹線が非常に近くて距離がとれませんから、道路を上げ下げしたときには高さがとれないという問題がございます。そういうなかで、小田急の上げ下げが出来ないか、そういう検討もした経緯もございます。ただこれは非常にお金がかかるお話でございますので、なかなか簡単には出来ないお話かなと思っております。そしてかにかが沢公園で何点かいただきました。桜の木これがだいぶ老朽化しているということで、これはソメイヨシノでございますから寿命がだいたい50年から60年ということで、もうすでに寿命がきているということで、こちらも順次更新をしていかなきゃいけないことでございます。それは十分に承知した中で対応してまいりたいと思っております。それから西側の木、こちら若返りが必要ではないかというご提言をいただきました。こちらがだいぶ高木になってきておりまして剪定もままならない状態、私どもも承知しておるんですが、なかなかそこにまわすお金が足りなくて、苦慮している状態ですその辺もしっかり考えていききたいと思っております。かにかが沢公園の北側の窪地ですね、ここを公園にということでございますが、かにかが沢公園は現在すでに整備が完了して使用していただいている公園でございまして、まだ座間市内には例えば芹沢公園大きな公園ですが、こちらは整備途中でございます。整備が完了しているところの拡大よりは未整備のところの公園整備に力を入れていきたいと考えております。また、その北側の一部の財務省の売りに出ている土地を公園としてというお話もいただきました。ここには国になんとか売りに出さずに残していただけないかというような現在働きかけをしているところでございます。それから相武台南口にバスの発着所、これは大変大きなお話でご意見としてはこれは承らせていただきたいと思います。それから水遊びの出来る公園、相模原にはある、相模原さん色々な公園をお持ちでして、とても争っても勝てないと思っております。座間は座間なりかとは思っておりますが、水遊びの出来る公園そういう必要性も決して否定できるものではございません。今後の課題として受け止めさせていただきたいと思っております。それから土地利用の明確化とか、都市施設の複合利用、ストックを生かしてという

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	22/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

ようなお話もいただきました。こちらについても今後検討するなかでのご意見課題として受け止めさせていただきたいと思います。再編交付金の30号線のお話、企画財政部長の答弁でございましたが、私も聞いておりましたが、可能性の話として、再編交付金、議員さんがそこに使ったらという話でございまして、それが全く可能性もない話ではないという話で企画財政部長はしたんだと思っております。私共のほうは道路の方を所管している都市部でございますから、〇〇さんとの調停のお話は十分理解はしております、またこの30号線につきましては、富士山公園という都市計画をした公園がございます。その面積を減らすこともむずかしいですし、また反対側は崖地になります。拡幅というのは大変構造的にもそして計画的にも難しいお話もでございます。対象となる可能性の話として多分されたと思いますのでご理解賜りたいと思います。色々ございましたので、時間もございますのでざっとということでご容赦いただきたいと思います。

【市役所】

企画財政部長の宮代です。よろしくお願いたします。私のほうからは3点ほどご質問といたしますかいただきましたので、それにお答えをしたいと思います。まず最初に市の人口の関係で、県は伸びているのに座間市は何でだ、こういうことで承りましたが、この話題につきましてはいわゆる各市でもこの人口の推計については一定の方法によって出されているようです。特に座間の場合には、ここではちょっと詳しい説明は省略しますが、コーホート方式といまして人口推計しております。あとは座間市の市域を考えたときに、今日の資料のなかにありますように、市街化率がすでに71%になっているという状況ですね、こういう状況も踏まえて考えますと、生存率あるいは今後の移動率を考慮しますとやはり減少傾向にあるということで盛り込ませてさせていただいております。なお、この人口推計につきましては今回の総合計画、新しい総合計画については年度の途中で見直しということも考えておりますので、それなりに人口が変わってくればそれに合わせて計画のほうも変更せざるをえないということもございまして、それについてはご理解賜りたいと思います。それから現在の三次総合計画というものです、達成見込みということでご意見いただきました。この関係につきましては、今日皆さんのほうに9つのテーマを掲げております。この9つのテーマをあげるにいたって、今現在の総合計画の課題点を、全市をあげて取り組んで今後どうあるべきかということを議論しまして、その結果を今回この案として9つの提案をあげております。したがって、達成率何%という部分にはいかない部分もありますけれども、経過としては第三次総合計画がまず第一前提にありますので、そちらの課題点を踏まえて次の総合計画に反映させていくことで考えておりますのでこちらについてもそういうことでご理解を頂きたいと思っております。それからこの総合計画にからみまして、目標設定をしてはという、これはまさに全くその通りだと思います。したがって、次の総合計画についてまず目標を明確にしたいと。漠然的に申し上げればやはりいちばんわかりやすい数値で表すということだと思います。したがって、現状とそれから10年後の数値というものの目標設定をしっかりと、その目標に向かって事業を推進していきたいということで考えております。私のほうから以上です。

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	23/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

【市役所】

保健福祉部の部長の田中と申します。まず病院の問題の関係でご質問いただきました。産科の病院も含めまして答えさせていただきたいと思いますが、まずこの座間市、病院が18年度まで5箇所ございました。それが現在2箇所に激減しているような状況がございます。このへんの原因につきましてはやはり先ほど質問の方が言われてましたが、医者不足ですかスタッフの不足ですかそういったものが特に原因になっているような状況がございます。また病院の計画自体でございますが、国、県こういった医療計画に基づきまして配置計画というものがございます。私どものほうの市では県央保健医療圏、こういったかたちでの医療圏がございます。相模川の西側としましては厚木、愛川、清川、相模川の以東におきましては海老名、綾瀬、大和、座間こういった地域が県央医療圏というようなかたちでなっております。現状では座間市で病院は減ってきてはいるんですが、病床過剰地域というような指定地域になってございます。こうした状況で万一皆さんが救急車にお世話にならなきゃいけないような状況が発生した場合に、この2つの病院でなかなか対応がしきれない部分もございます。今申し上げました近隣の各市の病院等のご協力を得ながら、広域的な医療体制を構築しているような状況でございます。今後こういった救急も含めまして病院の対応策というのを国等へ要望をあげながら考えていきたいと考えているところでございます。それから就労の相談員が、というお話がございました。現状では先ほど質問の方からいただきました福祉支援課には就労相談情報を行っている相談員がおります。それともう1つは障害者の就労支援の相談員、そんなものも配置をさせていただいているところでございます。このなかで相談員につきましては、ハローワークとの連携それから協力企業の開拓、こんなものも含めてあと市のほうでお願いをしております。内容、現状やはり経済状況等関しまして、やはり派遣切りですかそういった方の就労相談、こういったものを含めさせていただきたいなというような考えでございます。私のほうからは以上です。

【市役所】

教育長の金子でございます。先ほど個性のある学校での教育活動そして多様な学習プログラムのお話をいただきましたが、私も全く同感であるということでお伝えいたします。個性ある学校づくりをこれからは是非していかなくちゃいけないというふうに思っております。8月の20日にありました子ども議会の中でも、子どもたちが福祉とか環境とかそういうテーマで色々提言を要望いただきました。その中で私が感心したのは、自分たちはこういうことをやっている、もっと広めたいむしろ公言してほしい、こういう意見が大変多かった。その中で例えば、牛乳パックをみんなで集めて恵まれない東南アジアの子どもたちを支援しよう、これを実践している学校が数校ございます。それからある学校では登下校にごみ拾いをしながら、ごみ袋を持ってごみ拾いしながら登校しよう、こういう学校があります。それぞれの学校が自分たちで何をしたらいいかというのを考えながら取り組んでいただいている。もう1つですね、全国学力学

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	24/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

習状況調査というのが皆さんご存知だと思いますが、3年ほどやりました。その中に質問用紙というのがあって、子どもたちがどういう生活をしているのかということでの質問がございます。その中で、1つは座間市の子どもたちが環境問題に大変高い関心を持っている。それからお年寄りや、身体の不自由な人たちとの交流体験が大変多い。また、自然との触れ合い、人との触れ合いそういう体験が非常に高い数字を出して私は大変良いことだなというふうに思っております。これからもっともっとしていただくといいなというふうに思っております。努力をしまいたいと思います。また、学校施設についても計画的に順次やっていかなきゃいけないというふうに思っておりますのでよろしくお願ひします。

【コンサルタント】

それではお時間さまっておりますので、もう1度皆さんのご意見、意見交換ということで時間を取りたいとは思いますが、ただ今日はこの時間でございますのである程度案が煮詰まった段階でまた地域別懇談会でまた意見交換出来るということですので、今日はここで意見交換は1度しめたいと思います。最後に市長さんのほうからまとめということでよろしくお願ひいたします。

5. 市長挨拶

ごく限られた時間でございましたけれども、色々と本質に迫る問題提議、厳しいご意見ご批判として、建設的なご意見様々多岐にわたりまして頂戴いたしました。本当にありがとうございます。いただいたご指摘、ご意見、全くもってごもっともなポイントばかりでございます。交通問題に関しても懸念、それからこれまでの取り組みについても立ち遅れについてのご指摘それから医療の関係についてははっきり言って医療過疎というようなイメージをお持ちいただいているんじゃないかというふうに思うわけでございます、こうした考え。さらには高齢化という先ほど申し上げた部分での今後に向けての取り組みの関係、そしてこれについても本当に皆さんの中で色々お考え、また大変な将来不安というものをもちにならっしゃったと改めて痛切に感じさせていただいたところでございます。その中で私がまとめてやろうかどうかわからないのでございますけれども、やはりここで私ども国政も大きな変化を今遂げつつあるなかで、これまでの無我夢中で走ってきたこの戦後の高度成長を含めた流れというものを一旦振り返って、そこの反省に立ち返って今後のあり方というのを考えるべき時にきているんじゃないかと思うわけでございます。特にこの座間市というまちは私が述べるまでもないわけでございますけれども、今日ここにおこしの皆さんの大半がやはりこの高度成長にしたがって、東京横浜のベッドタウンとして開発がなされたこのまちに移り住んでこられたという方がほとんどじゃないかというふうに思うわけでございます。ある方は新潟から、ある方は青森から、ある方は岩手から、ある方はまたはるか西のほうから。私が知りえる中では本当に座間に先祖代々住まわれている方というのは、全人口のうちのどうでしょう、1万8千とか2万とか、こういう数字であると思っています。そして皆さんやはりここに色々ご縁があろうかと思ひますけれども、座間というところに根を下ろして住まわれて、そして一生懸命それまで働いてこら

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	25/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

れ、また現在でも家族のためにそして会社のために働かれ、そうした皆さんがお暮らしになるベッドタウンとしての色彩というものが現状では非常に強くなっておるわけでございます。しかしながらここに至るまでの間に例えば昭和30年代から40年代にかけてはこの座間のまちは工業都市としての側面が非常に強かった時期があるわけでございまして、皆さんもご存知の日産自動車さんをはじめとした製造業の展開というものが一時は神奈川県内で川崎・横浜・相模原に次いで4番目に製造品出荷額が多かったという時期もあったわけでございます。そうした色んな時代背景のなかで特に都市基盤の整備、道路整備や本当に私もそう思います非常に立ち遅れています。これにもやはり都市計画というもの、これも高度成長の一連の進行に対して国がなんとか進めていかなければいけないということからの都市計画法の制定等があったわけでございますけれども、それを先走るかたちでの開発というものが進んでしまったことから、非常にその乱開発といったようなことに特にこの相武台・広野台地域においては現状があるわけでございます。消防車がなかなか入れない道路、今コミュニティバスという制度を作って試行運行をやっておりますけれども、これは他の地域にご要望いただく際にもっと乗り残しのないように大きな車を走らせられないのか、もっときめ細やかにまちの中に走らせられないのかというご指摘をいただきます。これを道路関係の関係からなかなか取りえないという部分があったわけです。様々そうした部分の影響というものが、色濃く今でも残っておるわけでございます。ところが含めて先ほどのお話から申し上げておりますように、県内において4番目の人口密度、1㎢あたり7300人前後の人がいらっしゃいます。さらにその市街化区域の中の都市的な土地利用というものが92.1%占めているという状況の中で、もうかなりの部分が面的に被覆されてしまっているという状況になっています。このなかで道路整備の関係ですとか、そういった部分の都市基盤のあり方というものを根本的に直すためには、やはり痛みを分かち合う、ある方にとっては大変な悲劇を被る、そういったような部分も当然出るわけでございまして、こういった施策を進めるにあたってはやはり総論賛成各論反対というもので、これも避けては通れないことになろうかと思えます。当然これには財政課題というものもあるわけでございます。非常にこれから先、高齢化進んでいくなかで今座間市の人口の中で65歳以上の方が占める比率というのが18.5%、人数にして2万4千人弱いらっしゃいます。これは年々増えていく、これは人口動態、人口ピラミッドが上に上がっていくわけでございまして、年間2千人ずつぐらい増えていく、これが現状避けられない状況になっている。そうしたなかでどうしても、先ほども非常に前向きな話の中で人の世話にならないようにピンピンコロリなんて話ございましたけれども、最後までやはり自立をしてやっていきたい、そういうような環境整備今後必要じゃないかというお話もいただいたわけですが、本当にそういう部分で扶助費というものの増加を避けることはできない、しかしながらそのなかでやはり私も含めてこの今私どもの後ろに並んでいる職員も含めて、まず先にその高齢化の中に次から次に入っていくわけですが、その際にやはり自分たちがきちんと最後まで自立的に動いてそこの中で生きがい創造が出来て、さらにそれが地域社会に貢献出来るといったような、これはハードの面それからシステムの面さらには地域のコミュニティの面でもこれがやはり出来ていくか、作っていくことが出来るか出来ないかというのはこれからの地域社会を考えるときに、非常に大きな課題また

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	26/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

それが目標になってくるんじゃないかというふうに思うわけでございます。これはもう1つ私が思うのは、これも他の地域で出た話なんですけれども、例えば座間にはまちの理想がない、核作りということはいわゆる庁舎の関係、文化会館ですとかこういった市の施設の整備はやったけれども、商業集積がないじゃないかと、またそれに関連した全体的な開発をなされてないじゃないかというお話を他の地域でも伺いました。私はその指摘については全くその通りだというふうに思うんですが、もうここで無いものねだりをしては無理ではないか、それよりももっと大きな面でこの座間というまちが、この神奈川の中においてまた首都圏の中においてどういうまちとして存在するべきなのか、また存在することがここに住んでらっしゃる、またここでご縁を結んで働いていらっしゃる皆さんにとってより良い座間になるのかということ、これをやはり考えていかなければならない時代ではないかと思えます。住宅都市としての側面、これはもう消しようがない位置でもあるわけでございます。そのなかで高齢化が進めば進むほど、また今まで昼間は市外で仕事に出られて、夜は寝に帰ってこられる、こういう皆さんがベッドタウンの中でリタイアをした後の生活、本当にこの地域のなかでだんだん生活圏というもの、また行動範囲というものが狭まっていくなかで、この地域の中でやはり生きがいを見出せる、また生活環境、買い物だとかそういう部分も本当に細かい日常生活に密着したものになるかと思うんですが、こういったものはやはりきちんと出来るといったような、高齢者の生活不安の解消というものが出来るようなまちづくりというものをやはり考えなければいけないというふうに思うわけでございます。そうした点で今日皆さんから承りました様々なご指摘というのは、それぞれ担当のほうで受け止めさせていただいておりますけれども、やはり担当は担当として一市民として、また座間市に居住してない者もいますけれども、やはりこれはベッドタウンとして自分の自宅に帰ったときに一市民としてどう思うのかという、こういう原点に立ち返ってこうした施策について、私どもなりに整理をさせていただきながらこういうふうにさせていただきたい、このように思うわけでございます。まだまだ話したいことは沢山あるんでございますけれども、あともう1つ、高齢化社会というなかで私はひとつ大きな財産が出来ると思っています。それは何かと言いますと、今まで本当に能力をお持ちで、先ほども例えばISOの認証をやってらっしゃるといのもいらっしゃいましたし、建築関係の仕事をやってらっしゃるとい方もいらっしゃる、色んな方が今ここにもいらっしゃると。今までご自分のお仕事の中でそうした卓越した能力を生かしていただいた皆さんが、これからリタイアをしてこられたときに、そうした部分を先ほどのボランティアの部分で、生きがいを創造というお話ございましたけれども、ぜひやはり能力を地域に生かしていただき、それをひとつの仲立ちにしながらお互いのまた違った面での人間関係、人の輪というものを広げていただく、そしてそこに生きがいを見出しながら地域が自立的に向上していくというふうなこうした一連の取り組みというものが、まさに自主的に出来るようになればしめたもんじゃないのかなというふうに思うわけでございます。自治会の活動が非常に活性度が落ちてるとか、色んな部分での指摘がございます。しかしながら、先ほど災害対策の話ございましたけれども何かあったときにやはりお互い助け合わなければいけないのはお近くの皆さん、これは阪神淡路の震災でももろにこれは出ているわけでございますけれども、そういった視点はやはり私どもの欠くことのないように

件名	地域別懇談会 【相武台・緑ヶ丘地域】	頁	27/27
日時	平成21年10月20日(火)	場所	相武台コミュニティーセンター

しながら、それこそあってほしくはないわけでございますけれども、災害対策ですとかこういうために取り組みをしていかなければいけない。やはり市民による市民の自治、市民のやはり意思というものをきちんと受け止めながらそれを皆さんに自主的に向上していってもら、これが今市民との協働という面倒くさい難しい言い方しておりますけれども、そこにやはり同じ目線に立って働いている、そして生きがいを創造しまちをつくっていく、こういうふうな良いサイクルというものを作るための計画であるべきだというふうに思っております。そうした側面から、今日いただきましたご意見またご指摘、また将来に向けてのこうあるべきだというお示しについても整理をさせていただきましてまた改めてお示しを申し上げたいと思います。本日は本当にお忙しい中、こんなに沢山の皆さんにお集まりいただき貴重なご意見をいただきまして、本当にありがとうございました。職員に成り代わりまして、また市に成り代わりましてまた御礼申し上げたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いをいたします。

6. 閉会

皆さんありがとうございました。以上をもちまして本日予定をしておりました地域別懇談会内容はすべて終了いたしました。本日は貴重なお時間とご意見いただきまして誠にありがとうございました。これをもちまして地区別懇談会を終わらせていただきます。ありがとうございました。